

わたしたちの周りの道路にある雨水溝は海につながっています！
雨水溝に汚れを流さないようにすることで、きれいな海を守ろう！

この先、海です。プロジェクト

「この先、海です」プロジェクトは、雨水溝を通じて海や川が汚れるのを『未然に防ぐ』ために、地域の子どもたちが自分たちの地域や地域を来訪する不特定多数の人たちに働きかけるプロジェクトです。

「この先、海です」プロジェクト

「この先、海です」プロジェクト 学習の流れ

1 雨水溝ってなんだ!? プロジェクトの導入

雨水溝という道路の仕組みと、そこから始まる川や海への環境汚染と私たちの暮らしとの関係について気づく。



2 私たちの雨水溝はどうなっている? 身近な雨水溝について知ろう

自分たちの周りにある雨水溝と海や川について写真を見てお話を聞く。雨水溝が海や川につながっていることを見に行き確かめる。ポスターを使って、どういう行動が雨水溝に汚れやゴミを流してしまうのか考える。どうしたら自分達由来の汚れを防げるか、周囲の人たちみんなて気をつけるにはどうしたらいいか、考える。



3 「この先、海です」キャンペーン 周りの人に知らせて協力を呼びかけよう

自分たちが学んだこと、協力してほしいことなどを地域の人たちに知らせるポスターや壁新聞などを作成する。地域の人たちの目に触れるところへ掲示してもらう。



4 「この先、海です」ペイント もっとたくさんの人に知らせよう

雨水溝の脇に、ここにゴミや汚れを流してはいけないことが誰にでもわかるようなサインをペイントしたり、路面ステッカーを貼ったりする。



※「この先、海です」プロジェクトは、NPO 法人海の自然史研究所が考案した、オリジナルの学習プログラムです。



プロジェクト設計の背景



雨水溝は道路に降った雨水を集めて流すことで道路の冠水を防ぐためのもので、私たちの身の回りにある舗装された道のほとんどに設置されています。本来、ここには雨水だけが流れ込むはずなので、雨水溝には水処理施設などは無く、海や川や湖に直接つながっているところがほとんどです。

その道路に、車を洗車したときの洗剤や、路上にこぼれたオイルなどの汚れ、さらに、ポイ捨てされたゴミやタバコの吸殻などがあると、雨水と一緒にそれらのものも一緒に雨水溝を流れていき、海や川に流れだすのです。

私たちが海や川でクリーンアップすると、その多くが陸からのゴミであるというのがわかりますが、これらは雨水溝を通してきているのです。

「この先、海です。」プロジェクトは、参加者自身が、地元の水環境について『知り』、自分たちの暮らしが水に与える影響について『気づき』、社会の仕組みを『理解し』、自分たちがまず『行動を起こし』、さらに知ったことを周囲に『知らせ』、地域の人たちと協力しながら活動をするプロジェクトです。

雨水溝は海や川につながっているということをできるだけ多くの人に知ってもらい、自分たちの暮らし方や行動を見直すことで、海や川や湖など地域の水環境の汚れを未然に防ぐことを期待しています。